

第7回JPNICオープンポリシーミーティング

「WHOISサービスと情報公開」

2004 Dec 1

POWEREDCOM 久保田聡

WHOIS の情報をつかって トラブルシュートする立場として

- WHOIS 利用の現状
- WHOIS が無いと困るか
- WHOISが無い場合の代替手段は

■ いつ使う？

- 回線の開通、切替、廃止時
- DNSの設定、移転、削除時
- 故障、障害時
- UCE UBE対応時

- 回線の開通、切替、廃止時
 - サブアロケーション割り当て確認
 - PIの割り当て確認
 - Peering相手先のAS番号割り当て確認
→ 誰？正しい情報？ Whois

情報の参照に使用

- DNSの設定、移転、削除時
 - 新規、他の組織からの移転
 - 設定すべきネームサーバの確認
→ 誰？正しい情報？ Whois

情報の参照に使用

- ▣ 故障、障害時
 - ▣ 遅い、繋がらない
 - ▣ 特定のアドレスより先に届かない
→ 誰？ Whois

他の組織への問い合わせ先の
調査ツールとして使用

- 故障、障害時 その2
 - メールが送信できない
 - 逆引き出来ていない
 - RBLに登録されている
 - 誰？ Whois

問い合わせ先の調査
設定情報の確認

■ UCE UBE対応時

■ abuse メール受信/SNMP Auth Failure多発

- 回線、お客さま特定

- 連絡先の入手

(通知アドレスに連絡がつかない場合電話番号)

- 自組織でないことの確認も

→誰？連絡手段は？ Whois

情報の参照、連絡先入手に使用

■ 無いと困るか？

現在指定事業者用WHOISを使用している

- ・WHOIS以外の情報参照、確認手段(IRR等)
があれば良い

WHOISのように簡単であれば
使われるツールとなる。

代替手段

- Tracerouteにて上位組織を特定
 - 上位組織に問い合わせ
 - ※Tracerouteが使えないことも…
- 自組織が保有している個人情報
 - 顧客データベースなど
 - ※自分のお客さまに限られる
- 開示請求手続き
 - 使ったことはない

「ネットワークの運用、
特にインターネット上での
自律的なトラブル解決 のため」

連絡先情報 はほしい